

平成23年1月7日

記者発表

発表先 石川県政記者クラブ

扱い 発表を持って解禁



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所



「金沢東部環状道路」鈴見交差点立体化から1年経過

# 立体化で、渋滞改善！事故半減！

国道159号金沢東部環状道路(通称:山側環状)の鈴見交差点は、平成21年12月12日に立体化し、約1年が経ちました。

この度、現在の交通状況等を調査して、確認された整備効果についてお知らせします。

## 【概要】

鈴見交差点が立体化されたことにより、立体化前に比べ、  
交通渋滞が一部解消され、車の流れがスムーズになりました。  
交通事故が半分以下になり、安全性が向上しました。

### 交通渋滞の解消

鈴見交差点で発生していた、最大約1,200mの交通渋滞が解消されました。  
鈴見交差点を通過する時間が、最大約6分短縮されました。  
交通渋滞により生じていた損失額が、年間で約1億8千万円減少しました。

### 交通事故の減少

鈴見交差点付近で発生していた交通事故が、半分以下に減少しました。

詳細なデータは次ページ以降を参照願います。



立体化後の鈴見交差点全景

石川の道を安全、  
快適にするための



## 【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所  
調査第二課 吉田 英治  
電話:076-264-9912(直通)

# 交通渋滞の改善

立体化前に発生していた交通渋滞が、立体化1年後にはほぼ解消しました！  
 これらの渋滞解消により、休日日中では鈴見交差点の通過時間が最大で約6分短縮されました。

調査時間帯	方 向	立体化前	立体化1年後	効果(立体化前後の比較)
平日朝	白山方面 森本方面	1,150m(4.6分)	950m(3.0分)	200m(約2分)短縮
	森本方面 白山方面	130m(3.6分)	0m(2.7分)	130m(約1分)短縮
平日夕	白山方面 森本方面	1,200m(6.0分)	0m(2.8分)	1,200m(約3分)短縮
	森本方面 白山方面	90m(4.0分)	0m(3.0分)	90m(約1分)短縮
休日日中	白山方面 森本方面	820m(9.1分)	0m(2.7分)	820m(約6分)短縮
	森本方面 白山方面	300m(4.6分)	0m(3.2分)	300m(約1分)短縮

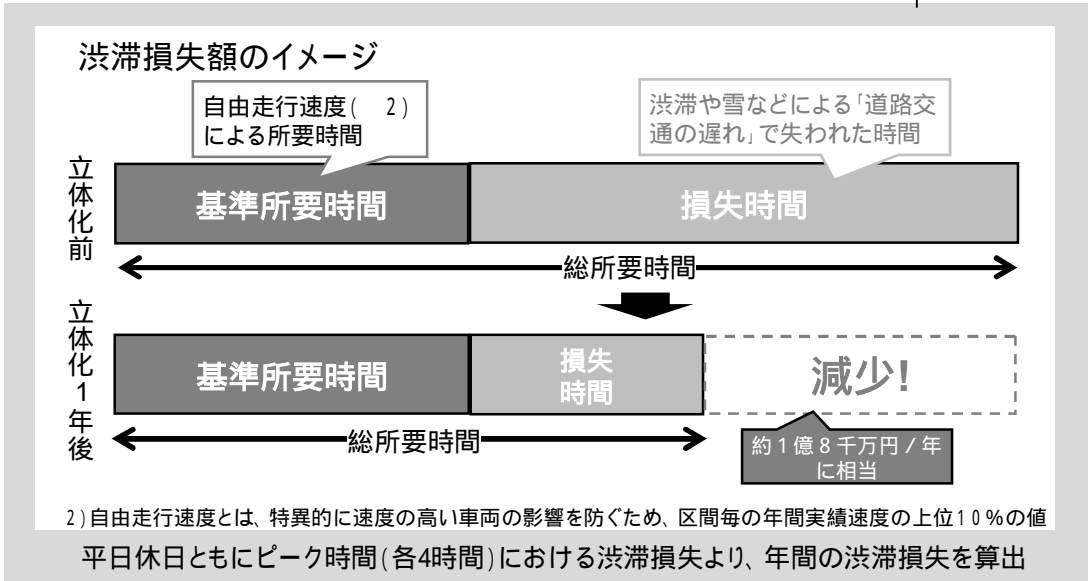
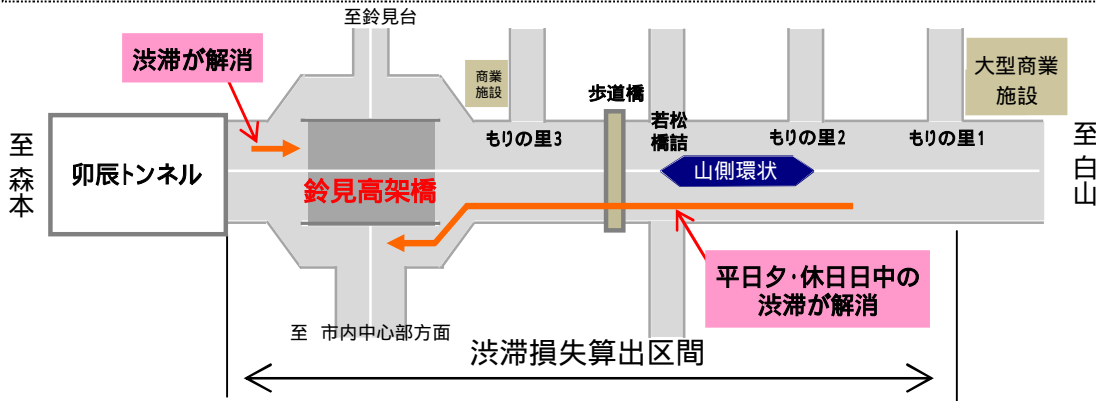
( )内はもりの里1丁目から卯辰トンネル鈴見側間の移動時間

渋滞による損失額( 1)が、約1億8千万円減少！

もりの里1丁目～卯辰トンネル鈴見側間において

立体化前の損失額:約3億1千万円 立体化1年後(今回):約1億3千万円

1) 渋滞による損失額とは  
 渋滞等による走行速度の低下によって生ずる、時間の損失や、経費の損失を金銭に換算した額です。  
 平日と休日のピーク時間帯(平日朝7:00～9:00と夕17:00～19:00、休日日中14:00～18:00)を対象に試算した結果です。



2) 自由走行速度とは、特異的に速度の高い車両の影響を防ぐため、区間毎の年間実績速度の上位10%の値  
 平日休日ともにピーク時間帯(各4時間)における渋滞損失より、年間の渋滞損失を算出

鈴見交差点で、平日朝には依然交通渋滞が発生しており、引き続き、卯辰トンネルを含む鈴見～東長江間の4車線化を推進により、渋滞の解消を目指します。

# 交通事故の減少

## 卯辰トンネル(鈴見側) ~ もりの里3丁目間の事故件数の変化

交差点立体化前に発生していた交通事故(死傷事故)が半分以上に減少!( 3)

立体化前( 4): 23件/年 立体化1年後(今回 5): 10件

特に、交差点内における直進車と右折車の事故が1/3に減少

立体化前( 4): 9件/年 立体化1年後(今回 5): 3件

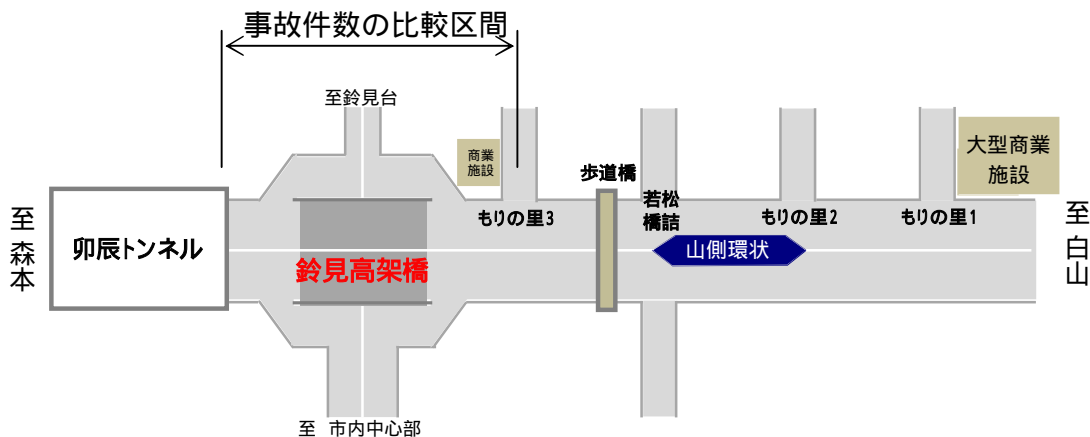
また、渋滞の解消や緩和により追突事故が半減!

立体化前( 4): 10件/年 立体化1年後(今回 5): 5件

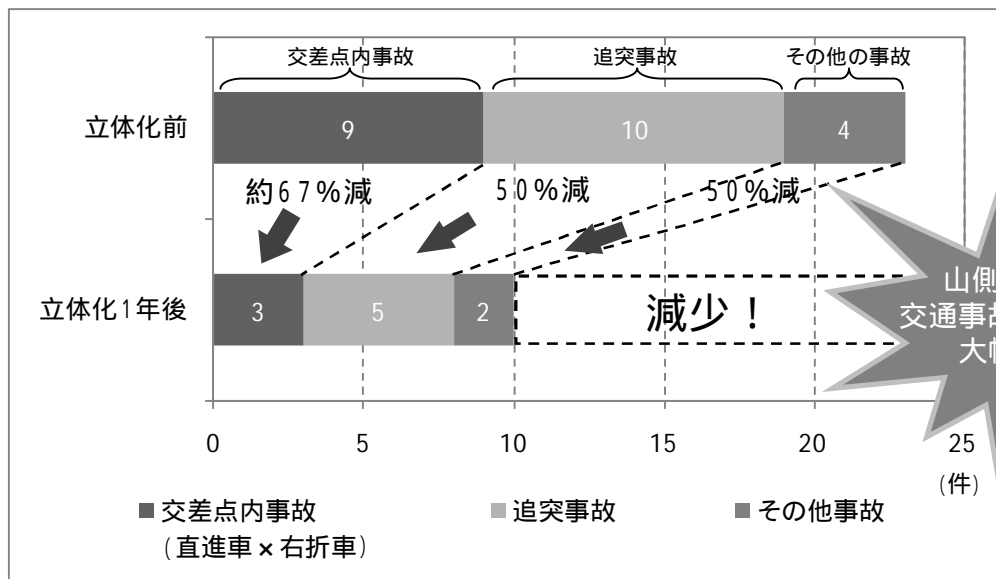
3) 事故件数は、速報値による集計結果です。

4) 立体化前: H17.12 ~ H21.11(4年間)の事故発生件数の年平均

5) 立体化1年後: H21.12 ~ H22.11.24(調査時点)(約1年間)の事故発生件数



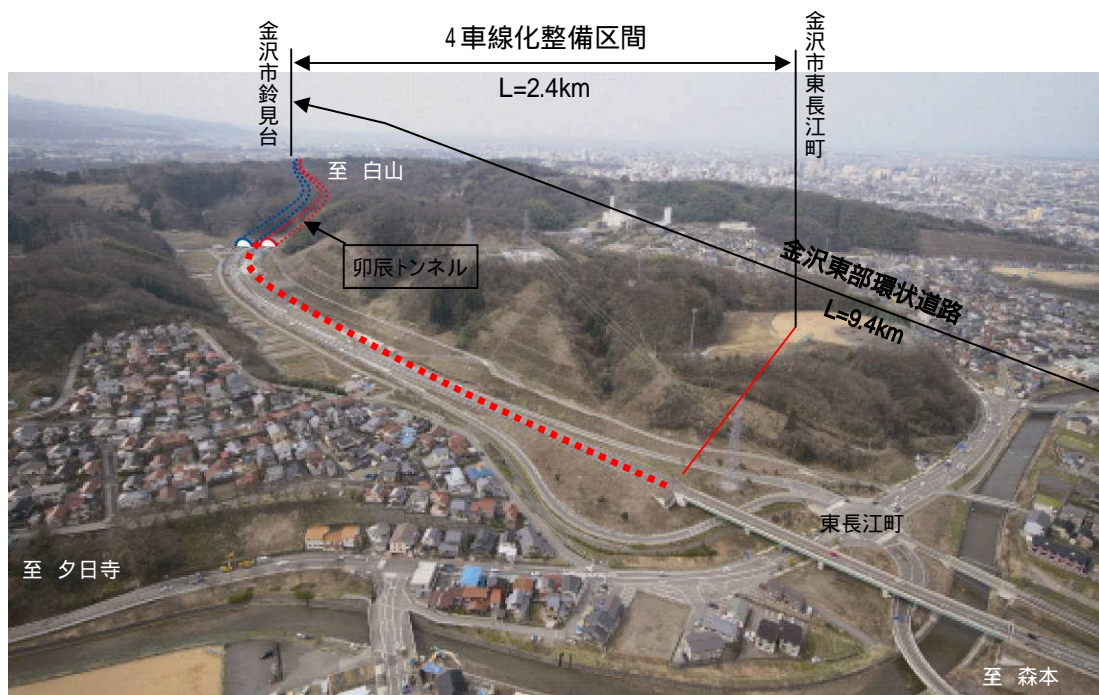
## 鈴見交差点立体化前後の交通事故件数の比較



## 参考資料 東長江から鈴見間の4車線化整備

現在、暫定2車線で開通している金沢東部環状道路では、鈴見交差点の立体化後も、依然として交通渋滞が発生している箇所もあることから、1日当たり3万台を超える交通量がある東長江町～鈴見台間(延長約2.4km)について、平成24年度の完成を目指して、4車線化を推進しています。

これにより、交通渋滞が解消されること等が期待されます。



掘削中の卯辰トンネル

4車線化区間に位置する卯辰トンネルでは、平成23年1月7日現在で、全延長1,199mのうち、約1,031m(約86%)まで掘削が完了しました。

